

広岡 宥樹 議員

全国一斉学力テスト 競争・比較は不可避

Q 問 43年ぶりのテスト。1960年代初頭に一度行われたが、競争をあおり、教育を壊すものとして4年で中止。危険性は今も変わっていない。どう防ぐか。

A 答 学力育成の成果を客観的に判断するために有効な調査(テスト)だったと認識している。今後は本調査を有効活用し、教育の充実を図っていく。

Q 問 小6、中3が対象。全国で233万人、袋井市で1,284人が参加。答案、生活データは、学校の先生方の目に触れることなく、67億円とともに受験企業に。情報の安全性に不安はないか。

A 答 国は、個人情報や機密情報について厳重な取り扱いを定めており、万全の対策が取られていると考える。信じるしかないと思う。

後期高齢者医療保険は 高齢者の新たな負担増に

Q 問 新たな高齢者叩き。高齢市民の利益を守る構えは。

A 答 本制度は、老人保健の趣旨を発展的継承するもの。国民皆保険を堅持し、安定的で継続可能なものにするためのものと認識している。制度を維持し、高齢者の利益を守るために努力する。



全国一斉に行われた学力量習状況調査

戸塚 文彦 議員

合併後の検証をアンケートで

Q 問 旧浅羽住民をはじめとして広く合併の効果や不便はないかなど、様々な項目でアンケートを実施すべきでは。

A 答 地域審議会や自治会連合会、各種施策の地元説明会等の折に、今後も地域の声を伺っていきたい。

ひとり暮らしの高齢者対策は

Q 問 現在ひとり暮らしの高齢者は何人おり、うち認知症のひとり暮らしの高齢者は何人か。また、その取り組み状況はどうか。

A 答 現在250人のひとり暮らしの高齢者がおり、緊急通報システム機器を貸与し、消防署や親族等に連絡できる体制をとっている。認知症でひとり暮らしの高齢者数は明確でない。

地域資源活用策として、 「袋井の桜100選」を提案

Q 問 地域で誇れる桜・市民に見てもらいたい桜を市民から公募し、広く紹介して観光振興に活用できないか。

A 答 桜の見所リストを作成する等、新たな地域資源として本市PRに活用したい。



原野谷川堤防の桜並木



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して

